商談の合間に訪れたいジャカルタのスポット５選

インドネシアの首都ジャカルタは、多くの日本人出張者にとって、カンファレンス、工場見学、交渉のための街です。しかし、この大都市にはビジネス関連以外にも多くの魅力があります。

会議の合間に数時間の自由時間がある場合や、滞在を少し延ばせる場合に使える、日本ではなかなか味わえない５つのスポットをご紹介します。



１．スンダ・クラパ（Sunda Kelapa）とコタ・トゥア（Kota Tua）

まずは、ジャカルタの海洋史と植民地時代をたどるため、ジャカルタの歴史的な港、スンダ・クラパへ。インドネシアの伝統的な木造帆船ピニシ（pinisi）が、周囲の近代的都市景観と鮮やかな対照をなしています。横浜、神戸などの高度に近代化された港を知る方々には、アジアの海洋文化のまったく異なる一面が見えるでしょう。

そこから、植民地時代のバタヴィア（Batavia）の中心地だったコタ・トゥアへ向かいましょう。ファタヒラ（Fatahillah）広場の周辺には歴史的建造物、博物館などがあり、東南アジアの重要な交易都市だったジャカルタの面影を伝えています。

２．タマン・ミニ・インドネシア・インダー（Taman Mini Indonesia Indah）

出張中にスマトラ、ジャワ、バリ、カリマンタン、スラウェシ、パプアを巡る時間を確保するのは困難ですから、１か所でインドネシア全体を体験できるタマン・ミニ・インドネシア・インダーをお勧めします。そこでは、広いインドネシアを網羅し、伝統建築など、各地域を再現した施設を通じてインドネシア全体を俯瞰できます。

TMIIは、初めて訪れる日本人出張者が、現地でビジネスをする上で重要な文化的視点を得るよい入口になります。インドネシアは国家としては一つですが、その文化・伝統・言語などにおける地域ごとの特色は驚くほど多様です。

３．インドネシア式スパ体験

複数の会議とジャカルタの渋滞が続いた後



には、旅程にインドネシア式スパもよいでしょう。日本とは異なる文化的価値をベースにした、ジャワ式マッサージ、バリ式マッサージ、伝統的なルルール（lulur）ボディトリートメント、アロマセラピーなどがあります。

日本にもすばらしいスパはもちろんありますが、ジャカルタには、独自の施術、より長時間のコース、そして東京の高級スパとは大きく異なる料金という別の魅力があります。ホテルやビジネス街の近くで信頼できる店を選べば、慌ただしかった一日を締めくくるのに理想的な時間になるでしょう。

４．ナシゴレン以外のインドネシア料理

ナシゴレン（nasi goreng）、サテ（satay）、ルンダン（rendang）は有名で既にご存じかもしれませんが、インドネシア料理はそれらだけではありません。ジャカルタでは、飛行機で移動せずに群島各地の料理を味わえます。

まずはジャカルタ名物のソト・ブタウィ（Soto Betawi）とクラック・テロール（Kerak Telor）を。できれば、西スマトラのパダン（Padang）料理、西ジャワのスンダ（Sunda）料理、北スラウェシのマナド（Manado）料理へと広げてみましょう。手頃な価格のローカル食堂から、顧客の接待にふさわしい洗練されたレストランまで選択肢があります。

５．日本文化の人気度を楽しむ

ジャカルタ・トイズ＆コミックス・フェア、エンニチサイ（縁日祭）、アニメ・フェスティバル・アジア／インドネシア（AFA ID）、インドネシア・ゲーム・エキスポ（IGX）などのイベントから、インドネシアにおける日本のポップカルチャーの興味深い姿が見えてきます。通常、ジャカルタ・トイズ＆コミックス・フェアは２月に、エンニチサイは５月に、AFA IDは８月に、IGXは10月に開催されます。



日本の知財関係者やエンターテインメント企業にとって、これらのイベントは、何がインドネシアの消費者に響くのかを現場で知る機会にもなります。

ビジネスの合間に、ジャカルタを楽しむ時間をつくってください！

ジャカルタは仕事だけの街ではありません。会議室の外で少し時間を過ごすことで、インドネシアという国、そこに息づく人々と文化を理解すれば、それは自らのビジネスの発展にも役立つはずです。

筆者紹介



Emirsyah Dinar
（エミルシャ・ディナール）

インドネシア弁護士
GIP Indonesia　代表
エミルシャ・ディナールは、GIP ASEAN インドネシア代表。AFFA Intellectual Property Rights Indonesia & East Timor のマネージングパートナーを務め、インドネシアにおける登録知的財産コンサルタントとしても活躍しています。
ニュージーランドのウェリントン・ビクトリア大学で学士号を取得後、インドネシアのガジャ・マダ大学を卒業。インドネシア、東ティモール、太平洋諸島において、国内外の多様なクライアントに対し、知的財産分野での支援を行っています。【参考】www.gip-asean.com